

主題「ケータイやインターネットと正しくつきあうための
ルールとマナーを考える」

さいたま市立三橋小学校

1 ねらい

- ケータイやインターネットの安心・安全な使い方を知り、大事なルールやマナーについて考える。
- ケータイでのトラブルに巻き込まれるなど、被害者や加害者とならないための注意喚起を通して、ケータイを持つことへの責任を自覚させる。

2 指導計画

- (1) 携帯電話に関する現状を確認する。
- (2) 「ケータイ安全教室」を受け、ルールやマナーを確認する。
- (3) 各自の考えや感想を話し合う。

3 授業実践例

- (1) 所持率や利用方法など携帯電話に関する現状を確認する。
- (2) 「ケータイ安全教室」を受ける。
- (3) 公共の場でのルールやマナーについて再確認する。
- (4) 今後、気をつけていきたいことなどについて学校や家庭で話し合いをする。

4 成果と今後の課題

機能的にケータイやインターネットを使いこなすだけではなく、ルールやマナーを考え、正しく利用することが、安全で大事であることを学ぶことができた。今回は、児童だけでなく保護者も一緒に安全教室を受講することができた。児童のケータイの所持率は現在それほど高くはないが、この合同受講により、情報の共通理解ができ、家庭でケータイやインターネットの利用のルールを決めていくための大事な一歩にすることができた。

また、より安全にケータイやインターネットを利用していくためにも、児童の成長に合わせて継続的に指導していくことが今後の課題である。